

成長性を分析する

Q. 成長性分析の意味と改善方法は？

要旨 成長性分析は、企業の成長の度合いを測るものです。現状での成長性を把握することで、今後の成長度合いを予測する参考にすることができます。指標が増加しているだけでなく、その要因を深掘りして確認し検証することが必要です。

解説

1. 成長性を見極める

企業の成長性分析は、前期と比較することで分析します。前期の業績が悪い場合には、当期が通常通りでも指標は向上します。反対に、前期の業績が好調の場合には、当期が通常通りでも指標は低下します。このように、成長性の指標は今期の業績だけでなく前期の業績も関係してくるため、当期だけの指標で判断せずに、できれば過去5年間程度の指標の推移を見て判断する必要があります。

また、企業が成長すると、売上が拡大し、設備投資を行い、売上債権や棚卸資産、仕入債務などいわゆる運転資金が大きくなり、必然的に総資本も増加するため、総資本増加率も上向きます。総資本は負債＋自己資本であり、不要な設備投資を借入により行った場合なども総資本増加率は上向くため、成長性分析の総資本利益率（ROA）などで総資本に対する利益が適正に獲得できているのか分析することが不可欠です。

2. 成長性の必要性

一般的に会社は成長拡大することが求められますが、永遠に成長し続けることは困難です。会社のおかれた環境により、指標の表れ方も変わります。持続的に成長できる会社は少なく、ある程度の期間が経過す

ると、安定期に入り、成長スピードは鈍化し、横ばいまたは低下します。分析対象の会社がどの段階にあるのか見極め、これ以上の成長が見込めない場合には、事業の再編も考える必要があります。

3. 組織再編による異常値に注意

対象企業が組織再編（M&Aを含む）を行った場合には、成長性の指標が著しく変動する場合があります。合併した場合には、他の会社の資産、負債がプラスされ、総資本が増加し、シナジー効果で利益額も増加するかもしれません。資本の成長に対する売上・利益の成長がどうなのかなど、成長性分析だけでは本質を見極めることができません。組織再編が行われた場合には、成長性分析だけでなく他の財務分析（収益性分析や安全性分析）を併用して、実態を把握する必要があります。

売上・利益、並びに資本の過去比較により成長性を分析

<ご提案のポイント>

- ・自社が成長していると感じても利益が残っていない場合など、自社の成長過程における課題を把握することができます。
- ・市場の成長スピードと比較することにより、自社の状況を把握することができます。

1. 成長性分析とは

成長性とは、企業規模が拡大しているかどうかを確認する指標です。売上高や営業利益、自己資本の過去からの成長性の比較により経営戦略の参考にすることができます。

2. 成長性の分析方法

成長性分析は、対象項目が当期と前期を比較してどのくらいの割合で増加しているかを示すものであり、売上・利益と資本の成長性に分けることができます。

①売上・利益の成長性分析

売上・利益の成長性は、自社のみならず市場全体の成長性との比較が重要です。市場全体の成長率に自社がついていけない場合には、自社の成長性が低いことを意味します。また、売上高の増加率に比べて、利益の増加率が減少している場合にも注意が必要です。売上高拡大のために必要以上の経費を投下している可能性があります。自社の成長スピードに合わせて全体のバランスを確認しながら企業規模を拡大していくことが重要です。

① 売上増加率 (%)	$\frac{(\text{当期売上高} - \text{前期売上高})}{\text{前期売上高}} \times 100$
② 営業利益増加率 (%)	$\frac{(\text{当期営業利益} - \text{前期営業利益})}{\text{前期営業利益}} \times 100$
③ 一人当たり 付加価値増加率 (%)	$\frac{(\text{当期1人当たり付加価値} - \text{前期1人当たり付加価値})}{\text{前期1人当たり付加価値}} \times 100$

②資本の成長性分析

資本の成長性は自己資本と総資本の増加率により確認します。自己資本の増加は利益の積み重ねによる会社規模の成長を意味します。一方、総資本の増加は利益の積み重ねだけでなく、設備投資を借入で行った場合にも増加するため、単純に増加したことが実質的な成長につながるわけではないため、実態を確認する必要があります。

① 自己資本増加率 (%)	$\frac{(\text{当期自己資本} - \text{前期自己資本})}{\text{前期自己資本}} \times 100$
② 総資本増加率 (%)	$\frac{(\text{当期総資本} - \text{前期総資本})}{\text{前期総資本}} \times 100$